

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2026 年 第 22 週（5 月 25 日～5 月 31 日）

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 4 人 類型 患者 2 人、無症状病原体保有者 2 人 血清型 O157 2 人、O103 1 人、不明 1 人
四類感染症	E 型肝炎 5 人 推定感染地域 国内 4 人、不明 1 人 A 型肝炎 1 人 推定感染地域 不明 レジオネラ症 4 人 病型 肺炎型 4 人
五類感染症	ウイルス性肝炎 1 人 病型 その他（HSV） 急性脳炎 1 人 病原体 ヒトメタニューモウイルス 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 人 血清群 B 群 1 人、G 群 1 人 後天性免疫不全症候群 2 人 病型 AIDS 1 人、 無症状病原体保有者 1 人 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 人 侵襲性肺炎球菌感染症 2 人 梅毒 10 人 病型 早期顕症Ⅰ期 4 人、早期顕症Ⅱ期 4 人、 無症状病原体保有者 2 人 百日咳 10 人 年齢階級 1-4 歳 3 人、10 歳代 1 人、 20 歳代 3 人、30 歳代 1 人、 40 歳代 1 人、50 歳代 1 人 麻しん 2 人 病型 麻しん（検査診断例） 2 人

〈麻しんの患者情報〉

麻しん（図 1）は麻しん（検査診断例）2 人の報告があった。年齢階級別では、20 歳代及び 30 歳代が各 1 人であった。2026 年の累計報告数は、麻しん（検査診断例）が 31 人、修飾麻しん（検査診断例）が 9 人の計 40 人となった。

（埼玉県感染症情報センター：麻しん及び風しん流行情報（<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/masinn.html#mashinn>））

〈定点把握疾患の患者情報〉

水痘（0.52→0.81：図 2）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加した。保健所別では、熊谷（1.20→2.40）、幸手（0.40→1.40）保健所管内で大きく増加した。咽頭結膜熱（0.35→0.51：図 3）及び手足口病（0.60→0.81：図 4）の定点当たり報告数は前週と比較してわずかに増加した。新型コロナウイルス感染症（0.34→0.31：図 5）の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。基幹定点における新型コロナウイルス感染症（入院）の報告は 4 人（前週 5 人）であった。急性呼吸器感染症（63.32→66.87：図 6）の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。眼科定点報告疾患では、流行性角結膜炎 10 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、細菌性髄膜炎 1 人、マイコプラズマ肺炎 2 人、感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）1 人の報告があった。

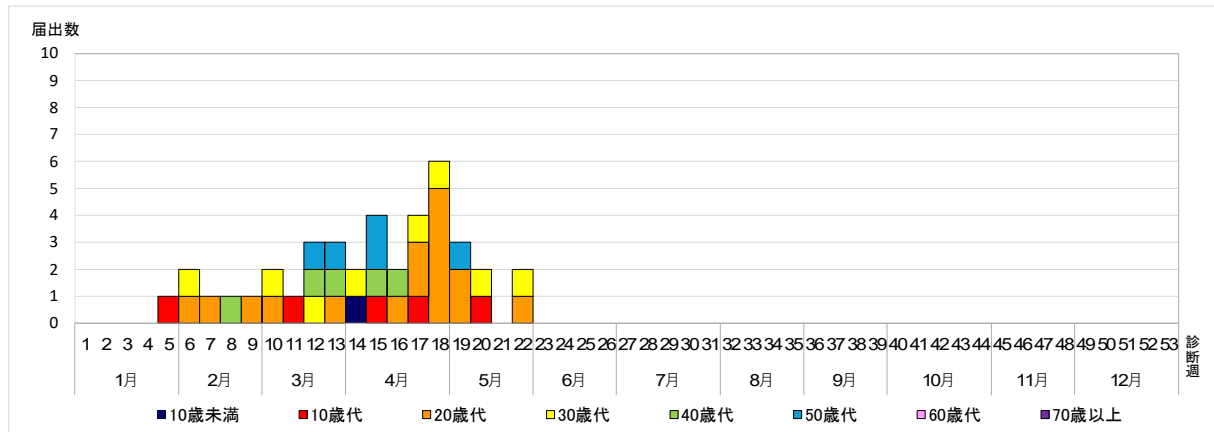
○全国の感染症発生動向に関する情報は、国立健康危機管理研究機構（JHS）感染症情報提供サイト（URL：<https://id-info.jhs.go.jp/>）で御覧になれます。

○麻しんについては、JHS の麻疹 発生動向調査（URL：<https://id-info.jhs.go.jp/surveillance/idwr/diseases/measles/graph/index.html>）で御覧になれます。

○麻しんに関する特定感染症予防指針では、迅速な行政対応を行うためにも臨床診断を行った時点で臨床診断例としての届出を行うとともに、地方衛生研究所にてウイルス遺伝子検査等を実施するために必要な患者検体の提出を求めています。各医療機関において麻しんの臨床診断が行われた際は、検体提出の御協力をお願いいたします。なお、JHS のホームページにて「麻しんを疑った際の対応（2026 年 3 月）」（URL：<https://dcc.jhs.go.jp/information/pdf/mashin20260327.pdf>）が掲載されています。参考に御覧ください。

<注目すべき疾患（麻しん）>

図1 麻しんの診断週別年齢階級別報告数の推移



<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図2 水痘の定点当たり報告数の推移

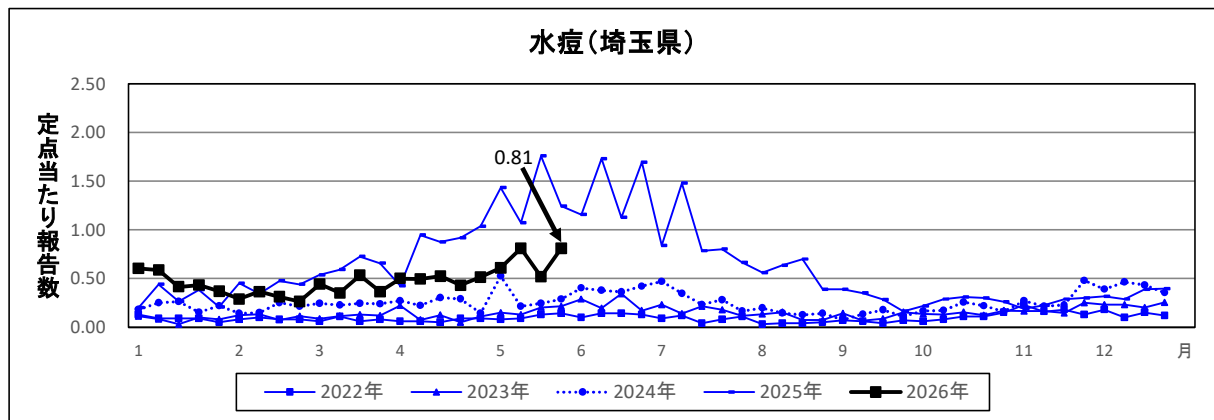


図3 咽頭結膜熱の定点当たり報告数の推移

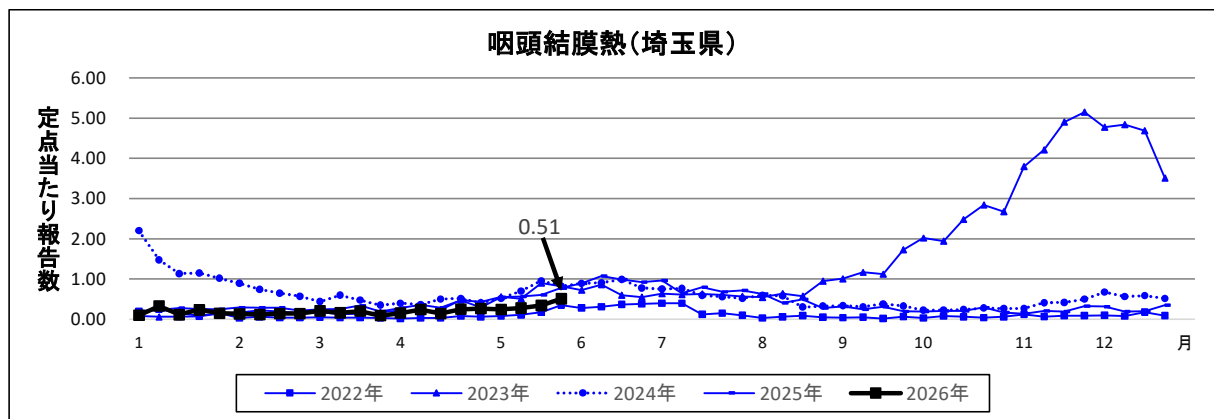


図4 手足口病の定点当たり報告数の推移

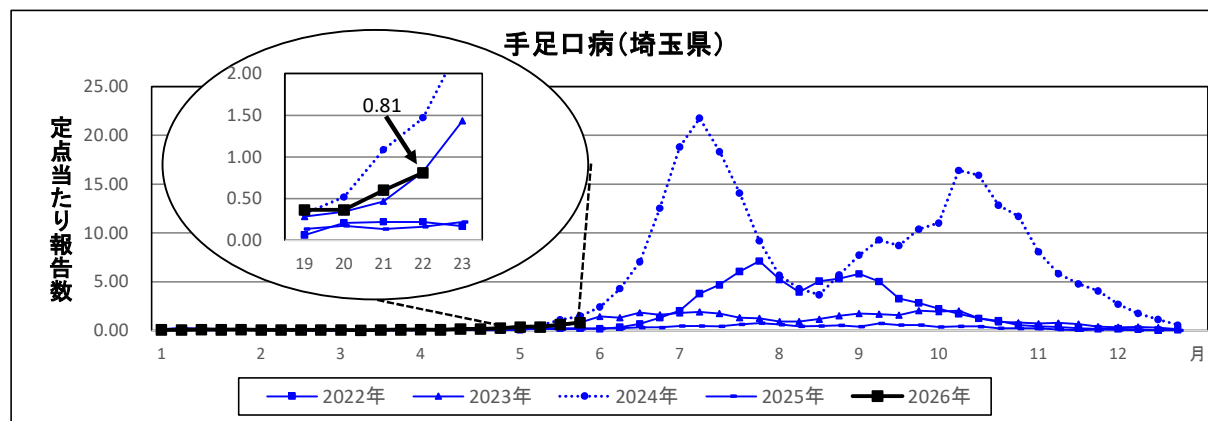


図5 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

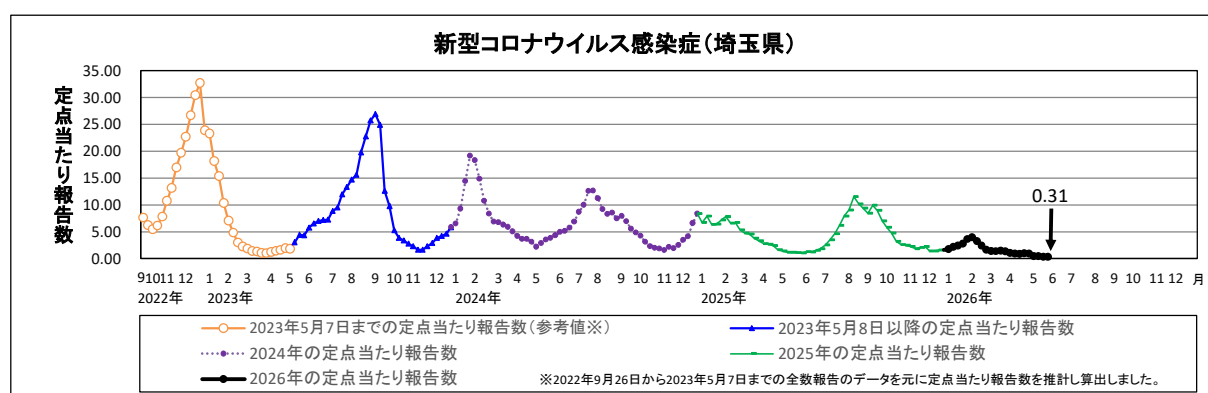
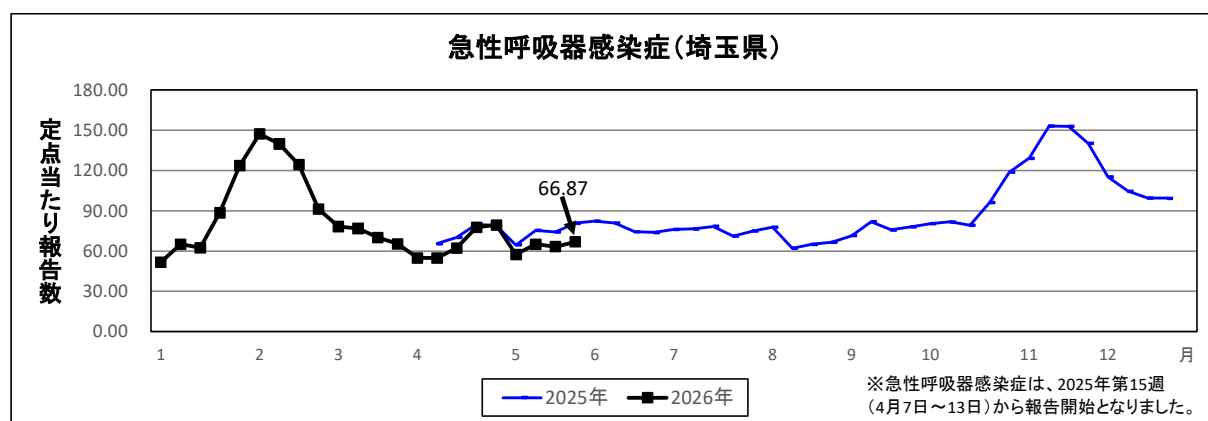


図6 急性呼吸器感染症の定点当たり報告数の推移



急性呼吸器感染症における病原体検出状況は以下のページに掲載しています。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/ari-surveillance.html>

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第22週)

(2026年6月2日 15:15集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核 *1	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		2
細菌性赤痢		2	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	4	51			
四類感染症					
E型肝炎	5	37	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎	1	4	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
エムポックス			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病			Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサナル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		1
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	4	46
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱			ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		14	水痘(入院例に限る)		6
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)	1	10	先天性風しん症候群		
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		16	多剤耐性緑膿菌感染症		
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)		1	梅毒	10	226
急性脳炎	1	27	播種性クリプトコックス症		2
クリプトスポリジウム症			破傷風		2
クロイツフェルト・ヤコブ病		3	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	25	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1
後天性免疫不全症候群	2	16	百日咳	10	226
ジアルジア症			風しん		
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	16	麻しん	2	40
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1
侵襲性肺炎球菌感染症	2	59			

累計は診断週で集計

*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2026年第22週

5月25日~5月31日)

保健所	インフルエンザ #1	新型コロナウイルス 感染症	急性呼吸器感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス 感染症 (入院)
全 県	報告数 3	55	11,702	22	56	381	671	89	89	5	36	29	8	-	10	1	-	2	-	1	-	4
	定点当たり 0.02	0.31	66.87	0.20	0.51	3.46	6.10	0.81	0.81	0.05	0.33	0.26	0.07	-	0.24	0.08	-	0.17	-	0.08	-	0.33
朝 霞	報告数 -	11	884	3	1	31	55	5	3	-	3	-	3	-	3	-	-	1	-	-	-	1
	定点当たり -	0.69	55.25	0.30	0.10	3.10	5.50	0.50	0.30	-	0.30	-	0.30	-	0.75	-	-	1.00	-	-	-	1.00
鴻 巣	報告数 1	9	1,468	-	6	109	32	-	3	3	2	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり 0.08	0.75	122.33	-	0.86	15.57	4.57	-	0.43	0.43	0.29	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数 -	-	371	-	-	7	30	2	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり -	-	92.75	-	-	2.33	10.00	0.67	0.33	-	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秩 父	報告数 -	-	49	1	4	3	2	3	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり -	-	12.25	0.33	1.33	1.00	0.67	1.00	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数 -	-	153	-	-	5	-	2	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり -	-	38.25	-	-	1.67	-	0.67	-	-	0.33	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊 谷	報告数 -	1	596	-	3	10	20	12	8	1	-	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり -	0.11	66.22	-	0.60	2.00	4.00	2.40	1.60	0.20	-	0.60	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-
加 須	報告数 -	2	89	1	-	4	1	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり -	0.40	17.80	0.33	-	1.33	0.33	0.33	-	-	0.33	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-
春 日 部	報告数 -	3	738	4	5	11	34	3	3	-	3	2	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり -	0.50	123.00	1.33	1.67	3.67	11.33	1.00	1.00	-	1.00	0.67	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数 -	5	992	6	4	35	27	7	1	-	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり -	0.56	110.22	1.20	0.80	7.00	5.40	1.40	0.20	-	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数 -	-	335	1	3	10	40	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	定点当たり -	-	83.75	0.33	1.00	3.33	13.33	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-
草 加	報告数 -	3	475	3	4	7	45	7	10	-	3	3	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり -	0.27	43.18	0.43	0.57	1.00	6.43	1.00	1.43	-	0.43	0.43	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数 -	3	653	-	2	21	38	12	10	1	3	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり -	0.23	50.23	-	0.20	2.10	3.80	1.20	1.00	0.10	0.30	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
南 部	報告数 -	3	358	-	-	28	26	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり -	0.60	71.60	-	-	9.33	8.67	-	2.67	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川 越 市	報告数 -	2	666	1	6	21	18	4	3	-	3	3	1	-	1	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり -	0.22	74.00	0.20	1.20	4.20	3.60	0.80	0.60	-	0.60	0.60	0.20	-	0.50	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数 -	-	520	-	-	3	27	8	11	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり -	-	65.00	-	-	0.60	5.40	1.60	2.20	-	0.40	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
川 口 市	報告数 1	6	900	-	5	17	112	1	5	-	2	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり 0.07	0.43	64.29	-	0.63	2.13	14.00	0.13	0.63	-	0.25	0.13	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-
さいたま市	報告数 1	7	2,455	2	13	59	164	22	23	-	10	8	2	-	2	1	-	1	-	-	-	1
	定点当たり 0.02	0.17	58.45	0.07	0.48	2.19	6.07	0.81	0.85	-	0.37	0.30	0.07	-	0.22	1.00	-	1.00	-	-	-	1.00

(- : 0.00)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

6月 2日 13:30 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2026年第22週

5月25日～5月31日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ #1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-
新型コロナウイルス感染症	55	-	1	6	2	3	2	-	2	2	4	3	9	6	-	4	4	2	2	3	-
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～								
急性呼吸器感染症	11,702	940	5,009	2,347	955	338	358	487	358	334	216	203	157								
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～						
RSウイルス感染症	22	3	4	8	3	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	56	-	5	33	4	3	3	1	3	-	3	-	-	-	1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	381	-	1	9	27	42	39	41	59	34	23	19	47	7	33						
感染性胃腸炎	671	16	51	92	62	68	57	50	48	41	39	29	93	8	17						
水痘	89	-	-	5	4	6	4	7	9	13	12	15	13	1	-						
手足口病	89	3	7	36	20	10	7	3	-	-	2	-	1	-	-						
伝染性紅斑	5	-	-	1	-	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん	36	-	4	24	6	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	29	1	3	6	6	1	7	1	3	-	-	-	1	-	-						
流行性耳下腺炎	8	-	-	-	-	-	2	2	2	-	-	1	1	-	-						
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	10	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	2	2	1	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～				
細菌性髄膜炎 #2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
新型コロナウイルス感染症(入院)	4	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1			

※ 表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第20週 (5月11日～5月17日)

令和8年6月3日

<全国情報>

急性呼吸器感染症定点報告疾患(報告定点数:3,738):インフルエンザの定点当たり報告数は第7週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(2.52)、山形県(0.54)、佐賀県(0.42)である。...

小児科定点報告疾患(主なもの)(報告定点数:2,259):RSウイルス感染症の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.08)、鹿児島県(0.71)、岩手県(0.70)である。...

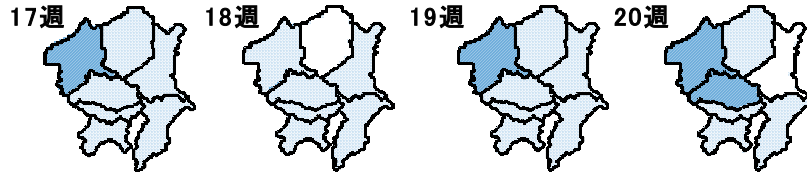
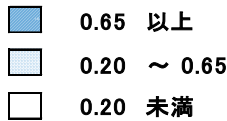
基幹定点報告疾患:マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は愛知県(0.67)、福井県(0.50)、島根県(0.50)である。...

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2026年第20週(5月11日～5月17日):通巻第28巻第20号より

<関東情報>

水痘の定点当たり報告数は、埼玉県(0.81)、群馬県(0.68)からの報告が多い。

水痘



2026年 20週

Table with columns for disease types (e.g., インフルエンザ #1, 新型コロナウイルス感染症) and regions (全国, 関東地域, 茨城県, 栃木県, 群馬県, 埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県). Rows show report counts and rates per point.

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

埼玉県の腸管出血性大腸菌検出状況(2025年)

埼玉県で2025年に分離され、衛生研究所で確認した腸管出血性大腸菌は152名に由来する155株でした。図1に検体採取月別の分離菌株数を示しました。有症状者は、腸管出血性大腸菌が増殖するのに適している気温の高い初夏から初秋に多い傾向がみられました。

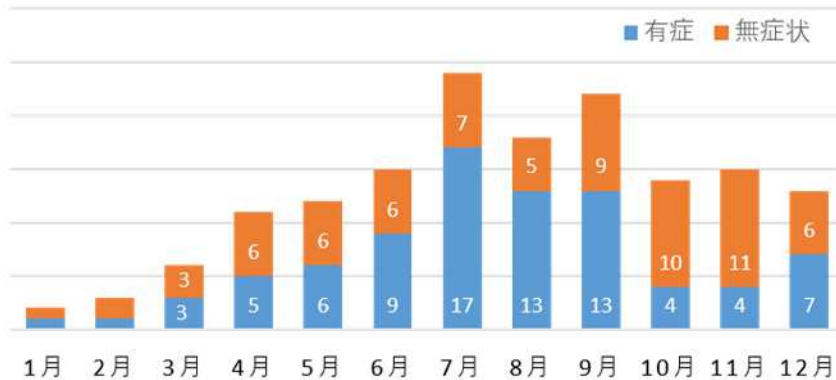


図1 検体採取月別・病型別菌株数

2025年の155株におけるO血清型の検出割合を図2に、ベロ毒素(VT)型別割合を図3に示しました。最も多いO血清型は、O157で59株(38%)、次いでO26が29株(19%)、O103が14株(9%)、O111が4株(3%)でした。VT型別の割合は、VT1が62株(40%)、VT2が49株(32%)、VT1VT2が44株(28%)でした。分離数の多いO157及びO26のVT型別は、O157では、VT1産生株の分離がなく、逆にO26ではVT1産生株が大部分を占めていました(表1、2)。

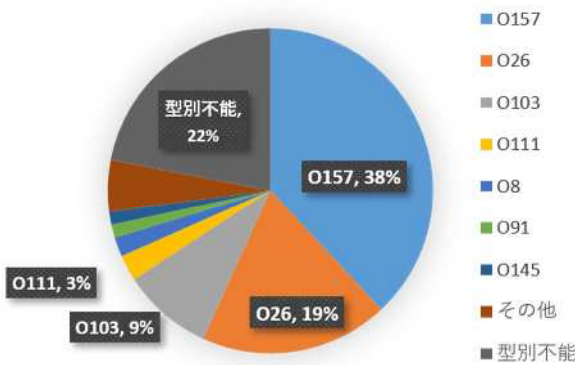


図2 O血清型の検出割合 (n=155)

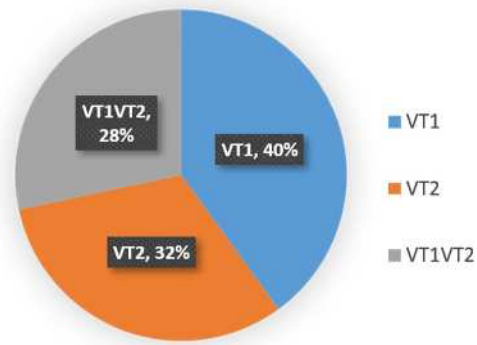


図3 ベロ毒素型の検出割合 (n=155)

表1 O157株の毒素型別菌株数

毒素型	有症状	無症状	合計
VT1	0	0	0
VT2	14	11	25
VT1VT2	29	5	34
合計	43	16	59

表2 O26株の毒素型別菌株数

毒素型	有症状	無症状	合計
VT1	15	11	26
VT2	2	0	2
VT1VT2	1	0	1
合計	18	11	29

腸管出血性大腸菌感染症による下痢症に使用する抗菌剤として例示されている、ホスホマイシン、ノルフロキサシン、カナマイシンに対する薬剤感受性試験を 2025 年の 155 株に実施した結果、ノルフロキサシン耐性株が 2 株（1.3%）確認されましたが、ホスホマイシン及びカナマイシン耐性を有する株は確認されませんでした。

腸管出血性大腸菌感染症は、100 個程度の少量で感染が成立する経口感染症です。汚染された飲食物を摂取するか、患者の糞便で汚染されたものを口にすることが原因となります。2025 年の腸管出血性大腸菌感染者 152 名を調査したところ、少なくとも 12 名が加熱不足の肉やユッケ等生肉料理の喫食歴があり、12 名の内 5 名は韓国でレバ刺しやユッケを喫食していました。腸管出血性大腸菌は加熱により死滅します。そのため、肉の生食を避けること、食品を十分に加熱することが重要です。

腸管出血性大腸菌感染症が多発する気温の高い日が多くなってきました。的確な情報提供を通じて、感染拡大防止への一助となるよう努めて参ります。

参考：IASR 45(5), 2024 【特集】腸管出血性大腸菌感染症 2024 年 3 月現在

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/pathogens/vol45/531/531t.html>

一次、二次医療機関のための腸管出血性大腸菌（O157 等）感染症治療の手引き（改訂版）

<https://www.mhlw.go.jp/www1/houdou/0908/h0821-1.html#1-4>

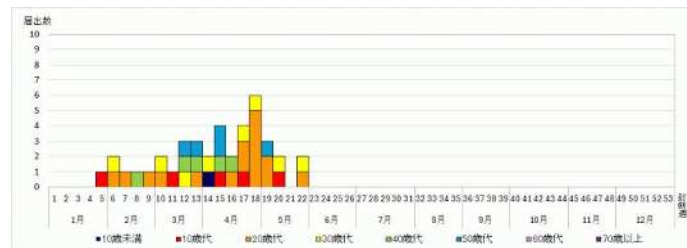
- 感染症発生動向調査 2026年**
- ▶ [感染症の流行状況 2026年 第1週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第2週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第3週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第4週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第5週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第6週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第7週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第8週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第9週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第10週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第11週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第12週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第13週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第14週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第15週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第16週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第17週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第18週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第19週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第20週](#)
 - ▶ [感染症の流行状況 2026年 第21週](#)

感染症の流行状況 2026年 第22週

2026年第22週（5月25日～5月31日）の要点

全数把握対象疾患（麻疹）

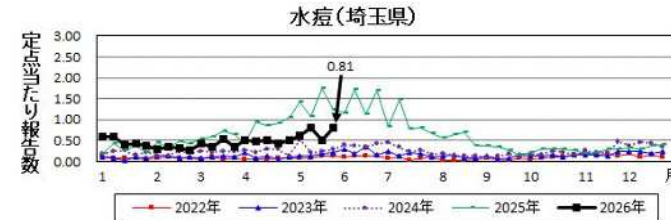
2026年第5週以降、麻疹患者が発生しています。麻疹を疑う症状（発熱、咳、鼻水、発しん等）がある場合は、必ず医療機関に連絡の上、受診していただくようお願いいたします。



定点把握対象疾患（水痘）

定点当たり報告数は、前週と比較して増加しました。

感染予防のため、咳エチケット、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心掛けてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	手足口病	↑	★
新型コロナウイルス感染症	→	—	伝染性紅斑（りんご病）	→	★
急性呼吸器感染症	→	—	突発性発しん	→	★
RSウイルス感染症	→	★	ヘルパンギーナ	→	★
咽頭結膜熱（プール熱）	↑	★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★	急性出血性結膜炎	↓	★
感染性胃腸炎	→	★	流行性角結膜炎	→	★
水痘（みずぼうそう）	↑	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい→★、★★、★★★→大きい）*4.2025年第14週から定点医療機関の指定数に変更となりました。疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「[感染症情報提供サイト](#)」でご覧になれます。